

2018年度第2回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2019年3月1日（金）14:00～15:35
2. 場 所：東海大学伊勢原校舎5号館5階会議室
3. 監査委員：委員長：三木 保（東京医科大学病院長/医療の質・安全管理学分野主任教授）
委 員：大塚 達生（弁護士/神奈川総合法律事務所）
：小林 幹夫（伊勢原市保健福祉部長）
：安田 聖栄（医療法人社団あんしん会四谷メディカグループ 理事長）
：千野 修（東海大学医学部附属東京病院副院長）
*山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長）委員は、別の会議のため欠席
4. 対 応 者：飯田 政弘（病院長）
：大上 研二（副院長/医療監査部長）
：梅澤 博之（事務部長）
：川又 郁夫（診療技術部長/医療機器安全管理責任者）
：市川 訓（薬剤部長）
：大澤 資樹（医療監査部次長）
：矢部 普正（医療監査部次長/医薬品安全管理責任者）
：山野 光彦（医療監査部/医療安全専従医師）
：水元 明裕（医療安全対策課長/専任医療安全管理者）
：上村 浩二（医療安全調査課長）
：内田 陽子（医療安全対策課/専任医療安全管理者）
：林 順裕（医薬品安全管理室/医療安全専任薬剤師）
：小澤 豊一（医薬品安全管理室/医療安全専任薬剤師）
：石橋 利昭（伊勢原総務課長）
：石原 潔（経営企画室課長）
：松尾 恵、高木 孝尚、飯塚 陽子（医療安全対策課/事務局）
5. 配布資料：1) 監査委員会次第
2) 具体的な取組み
①ポストン社製ペースメーカーの不具合に関する対応について
②イオン性ヨード造影剤（ウログラフィン®等）誤投与の有害事象情報への対応について
6. 監査概要
 - 1) 出席者紹介
 - 2) 監査委員会の成立
監査委員会規程第5条第3項により、委員の3分の2以上の出席をもって成立した。
 - 3) 監査委員会の目的
監査委員長より、高度で先進的な医療を提供する地域の基幹的病院の役割を担っており、安心安全な医療を提供する上で外部の視点から監査することは重要である。医療安全管理体制及び業務状況について、各監査委員の視点から改めて精査することを目的とする等の説明がされた。
 - 4) 監査内容
医療安全に関する具体的な取組み

- (1) ボストン社製ペースメーカーの不具合に関する対応について
- (2) イオン性ヨード造影剤（ウログラフィン®等）誤投与の有害事象情報への対応について

7. 監査結果

- 1) 医療安全に対してアンテナを高くし周知する努力と再発防止に尽くしている。医療機器、医薬品部門での取り組みについて確認でき、非常に良く検討している点を高く評価する。また、対岸の火事を自分のこととして捉えること、事故を風化させないことを皆で共有できた。
- 2) 医療事故は医療者と患者の両面から環境面を整えて無くしていくことが大事であり、具体的な対策について確認できた。
- 3) 機器関係等については迅速に対応しており、非常に安心した。また、医薬品に関する表示等の指摘についても速やかに対応しており、引き続き事象等の問題に対する速やかな対応を望む。
- 4) 医療機器・医薬品の対応については、いずれも関連部署の協力がなければできないが、「医療安全」ということが横軸になって多くの部署の協力が得られ、安全が担保されていることが確認できた。今後も継続してほしい。
- 5) 医療機器については、教育や研修がないと未然に防ぐことは難しく、真摯に取り組んでいることが確認できた。医薬品については非常に部署横断的になるため、迅速な周知とその検証を行っている点は非常に勉強になった。
- 6) 病院長のもと、医療監査部で継続的に真摯に医療安全体制が維持されていることが確認できた。

8. その他：

- 1) 東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員の任期について
 - ・ 2019年3月31日の任期満了に伴い、2019年度委員の再任を受諾いただいた。4月以降に委嘱状を送付予定。
- 2) 2019年度第1回の開催時期
 - ・ 2019年9月頃に開催予定

以上